



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月25日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6297 URL <https://www.koken-boring.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務本部長 (氏名) 三輪 美之 (TEL) 03 (6907) 7888  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,517	8.6	233	5.5	234	4.7	847	361.2
2020年3月期第3四半期	5,082	7.3	221	687.1	223	758.3	183	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 858百万円(352.1%) 2020年3月期第3四半期 189百万円(860.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	94.57	—
2020年3月期第3四半期	20.50	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,842	4,680	47.3
2020年3月期	7,938	3,893	48.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,654百万円 2020年3月期 3,873百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	3.9	360	△13.3	260	△37.5	930	174.8	103.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	8,970,111株	2020年3月期	8,970,111株
2021年3月期3Q	3,551株	2020年3月期	3,551株
2021年3月期3Q	8,966,560株	2020年3月期3Q	8,966,560株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症拡大の影響による企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、極めて厳しい状況にあります。景気の先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動レベルの段階的引き上げや各種政策の効果等により持ち直しの動きがみられたものの、同感染症の感染再拡大に懸念が顕在化し、より一層不透明感が増す状態となっております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など社会資本整備が不可欠で、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。期初においては新型コロナウイルス感染症の影響により、ボーリング機器関連では主要仕入機材の海外からの輸入遅延が見込まれておりましたが、現段階においてはそのリスクは軽微であると見込んでおります。しかしながら、工事施工関連においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事着工の遅れが発生し通期の完工高が減少されることが予想されております。

このような状況のもと、当社グループでは「2018中期経営計画」（2018年度～2020年度）の最終年度である当期も同中期経営計画に基づき、『①粗利率のアップ、②固定費低減、③売上拡大』を目指して引き続き推進してまいります。

また、当社の社是である「ONE & ONLYの技術構築のために前進」に基づき、当社にしかない「ONE & ONLY」の得意技術をボーリングスペシャリストとして自負とともに国内・海外の市場に展開し、これまで以上に他社が追従出来ない機械と施工技術の開発を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の受注につきましては、ボーリング機器関連、工事施工関連ともに前年同四半期を上回りました。また、売上につきましては、ボーリング機器関連では海外出荷があり前年同四半期を上回ることができ、工事施工関連において大型工事の完工などにより増加したため全体では前年同四半期を上回りました。

以上の結果、連結受注高は6,630百万円（前年同四半期比増減率10.7%増）、連結売上高は5,517百万円（同8.6%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加と原価率の低減により粗利益が増加したため、伊勢原工場用地取得関連の不動産取得税等の諸経費88百万円で増加した販売費及び一般管理費（前年同四半期比140百万円増）も吸収でき、営業利益は233百万円（前年同四半期比5.5%増）、経常利益は234百万円（同4.7%増）となりました。最終利益につきましては、6月に厚木工場売却による特別利益963百万円の計上とこれに関わる圧縮記帳処理などの税務処理を行った結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は847百万円（前年同四半期は183百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）と前年同四半期を大きく上回りました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	6,630	5,991	639	10.7%
売上高	5,517	5,082	435	8.6%
営業利益	233	221	12	5.5%
経常利益	234	223	10	4.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	847	183	664	361.2%

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

国内での受注は全国規模の防災・減災及び国土強靱化の地方復旧工事で取引先からの受注は増加傾向にあり、また、海外においては中国での大型ボーリングマシン関連と中南米へのODA水井戸機関連の受注が獲得できたため、受注高は前年同四半期と比べると40百万円増加いたしました。売上につきましては国内で主力製品のロータリーパーカッションドリル（RPD機シリーズ）とその関連部商品の出荷は減少したものの、海外受注増に伴い売上も大きく増加したため、国内販売の売上減少を補うことが出来、前年同四半期を3.0%上回りました。

利益面では引き続き特機の高原価をおこさない体制により逐次、個別原価の管理を行っているため改善しておりますが、伊勢原新工場用地関連で販売費及び一般管理費が増加したことにより当セグメントの固定費負担額が高んだため、△32百万円のセグメント損失（前年同四半期は△86百万円のセグメント損失）となりました。（但し、伊勢原新工場用地関連の販管費等増加分を差し引くと当四半期は35百万円のセグメント利益）

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	前年同期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	3,271	3,231	40	1.2%
売上高	2,820	2,738	81	3.0%
セグメント損失 (△)	△32	△86	54	—

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

② 工事施工関連

国内のBM工事（大口径立坑掘削工事）と温泉工事の受注は減少しましたが、トンネル先進調査ボーリング工事、地下水活用工事及びアンカー工事の受注は前年同四半期を上回り、また海外でも大型のBM工事を受注したことにより、受注高は前年同四半期と比べると599百万円増加いたしました。売上高につきましては、BM工事、温泉工事の完工は減少しましたが、長尺コントロールボーリング工事、北海道・北陸における新幹線・高速道路延伸工事でのトンネル先進調査ボーリングとアンカー工事の完工が増加したため、売上全体では前年同四半期を上回りました。

利益につきましては、完工高の増加と原価率削減効果により、販売費及び一般管理費の固定費増加をカバーし、268百万円（前年同四半期は307百万円のセグメント利益）のセグメント利益を計上いたしました。（但し、伊勢原新工場用地関連の販管費等増加分を差し引くと当四半期は312百万円のセグメント利益）

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	前年同期比較	
			増減額	増減率
			(A)-(B)	(A)/(B)-1
受注高	3,359	2,760	599	21.7%
売上高	2,697	2,343	353	15.1%
セグメント利益	268	307	△39	△12.8%

（百万円未満は切り捨てて表示しております。）

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,903百万円増加し、9,842百万円となりました。

流動資産は、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権、完成工事未収入金）が260百万円、前渡金が133百万円減少しましたが、現金及び預金が1,140百万円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、未成工事支出金、原材料及び貯蔵品）が733百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して1,456百万円増加し、7,286百万円となりました。

有形・無形固定資産で82百万円の減価償却を実施しました。当期は厚木工場の土地・建物を売却し、代わりに新工場用地として伊勢原の土地を購入したことにより有形・無形固定資産は1,401百万円取得致しましたが、「特定資産の買換えにより資産の圧縮記帳」を実施したことにより繰延税金資産が315百万円減少しました。これらにより固定資産合計では前連結会計年度末と比較して447百万円増加し、2,555百万円となりました。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,116百万円増加し、5,161百万円となりました。

流動負債は、前受金が132百万円、未払消費税等が107百万円減少しましたが、買入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が792百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金、リース債務を含む）が177百万円、未成工事受入金が25百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して799百万円増加し、3,946百万円となりました。

固定負債は、再評価に係る繰延税金負債が厚木工場等土地売却により137百万円減少しましたが、長期借入金（リース債務を含む）が377百万円、繰延税金負債が51百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して316百万円増加し、1,215百万円となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払い71百万円の減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益847百万円等を計上したことにより前連結会計年度末と比較して787百万円増加し、4,680百万円となりました。なお、自己資本比率は、総資産が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1.5ポイント減少し47.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月23日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

(連結業績予想)

売上高	7,900百万円 (前期比 3.9%)
営業利益	360百万円 (前期比 △13.3%)
経常利益	260百万円 (前期比 △37.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	930百万円 (前期比 174.8%)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,125,088	2,265,282
受取手形及び売掛金	1,135,109	1,159,828
完成工事未収入金	918,527	618,582
電子記録債権	375,802	390,892
商品及び製品	1,156,960	1,489,044
原材料及び貯蔵品	386,926	430,806
仕掛品	416,268	716,475
未成工事支出金	95,334	152,626
その他	220,116	63,112
貸倒引当金	△350	△300
流動資産合計	5,829,784	7,286,351
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,919,935
その他(純額)	556,320	467,249
有形固定資産合計	1,635,886	2,387,185
無形固定資産合計	63,170	61,592
投資その他の資産		
繰延税金資産	323,450	7,956
その他	87,969	100,430
貸倒引当金	△2,098	△1,458
投資その他の資産合計	409,320	106,927
固定資産合計	2,108,378	2,555,706
資産合計	7,938,162	9,842,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	662,115	994,726
電子記録債務	733,004	1,169,822
工事未払金	143,158	166,324
短期借入金	690,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	121,514	188,400
未成工事受入金	43,187	68,922
未払法人税等	61,993	79,833
製品保証引当金	20,551	15,540
賞与引当金	149,580	81,906
その他	521,425	381,033
流動負債合計	3,146,528	3,946,509
固定負債		
長期借入金	120,266	501,134
役員退職慰労引当金	14,104	16,359
退職給付に係る負債	557,751	584,069
環境対策引当金	1,904	365
資産除去債務	12,123	10,886
繰延税金負債	—	51,217
その他	192,179	51,082
固定負債合計	898,329	1,215,114
負債合計	4,044,858	5,161,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,561,677	3,648,999
自己株式	△1,597	△1,597
株主資本合計	3,725,500	4,812,822
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	△124,007
退職給付に係る調整累計額	△39,045	△34,415
その他の包括利益累計額合計	148,062	△158,422
非支配株主持分	19,740	26,034
純資産合計	3,893,303	4,680,433
負債純資産合計	7,938,162	9,842,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,082,539	5,517,821
売上原価	3,644,624	3,926,897
売上総利益	1,437,915	1,590,924
販売費及び一般管理費	1,216,695	1,357,564
営業利益	221,220	233,359
営業外収益		
受取利息	12	6
未払配当金除斥益	548	884
受取手数料	—	1,346
受取保険金	2,437	—
助成金収入	—	2,487
保険解約返戻金	7,041	25
公園管理料	1,308	1,281
貸倒引当金戻入額	335	119
その他	3,915	7,829
営業外収益合計	15,599	13,979
営業外費用		
支払利息	10,498	10,692
為替差損	37	17
貸倒引当金繰入額	—	500
その他	2,630	1,889
営業外費用合計	13,166	13,100
経常利益	223,652	234,239
特別利益		
固定資産売却益	15,778	963,852
特別利益合計	15,778	963,852
特別損失		
減損損失	5,503	14,998
固定資産除却損	437	0
特別損失合計	5,941	14,998
税金等調整前四半期純利益	233,490	1,183,093
法人税、住民税及び事業税	15,547	101,499
法人税等調整額	33,071	227,361
法人税等合計	48,619	328,860
四半期純利益	184,870	854,232
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,018	6,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,851	847,938

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	184,870	854,232
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5,108	4,629
その他の包括利益合計	5,108	4,629
四半期包括利益	189,978	858,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,959	852,568
非支配株主に係る四半期包括利益	1,018	6,293

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(土地再評価差額金の取崩)

当社は、第1四半期連結会計期間において固定資産の譲渡を行いました。また、当第3四半期会計期間においても遊休資産の土地再評価差額金の取崩を行なった結果、当第3四半期連結累計期間において、土地再評価差額金311,115千円を取崩し、同額を利益剰余金に振り替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,738,823	2,343,715	5,082,539	—	5,082,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,161	—	5,161	△5,161	—
計	2,743,985	2,343,715	5,087,701	△5,161	5,082,539
セグメント利益又は損失 (△)	△86,683	307,659	220,976	243	221,220

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額243千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ボーリング機器関連」セグメントにおいて、事業用資産の一部が遊休状態となったことに伴い、5,503千円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,820,723	2,697,097	5,517,821	—	5,517,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,034	—	8,034	△8,034	—
計	2,828,757	2,697,097	5,525,855	△8,034	5,517,821
セグメント利益又は損失 (△)	△32,577	268,369	235,792	△2,432	233,359

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,432千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社(共通)において、将来の使用が見込めなくなった遊休資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において14,998千円であります。